

10. 国際交流

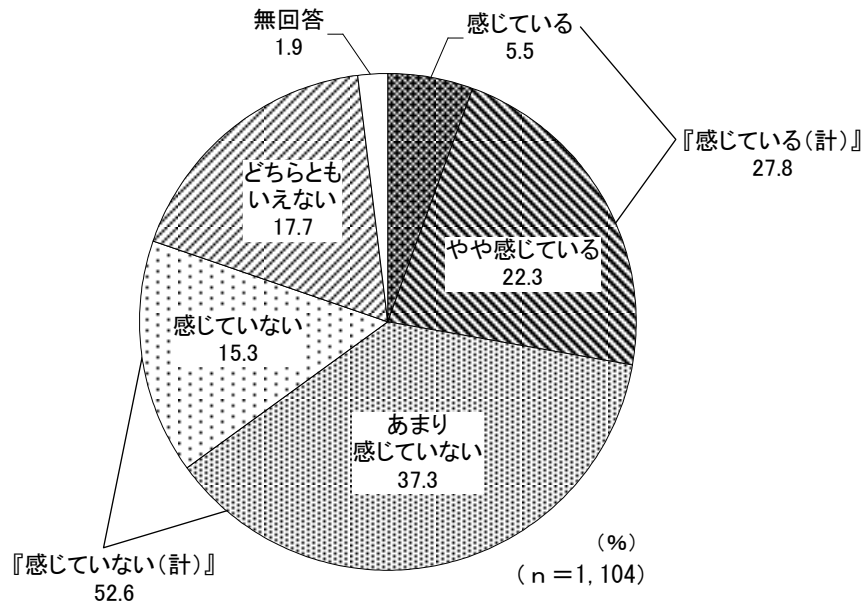
(1) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は3割近く

問16 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じていますか。(○は1つだけ)

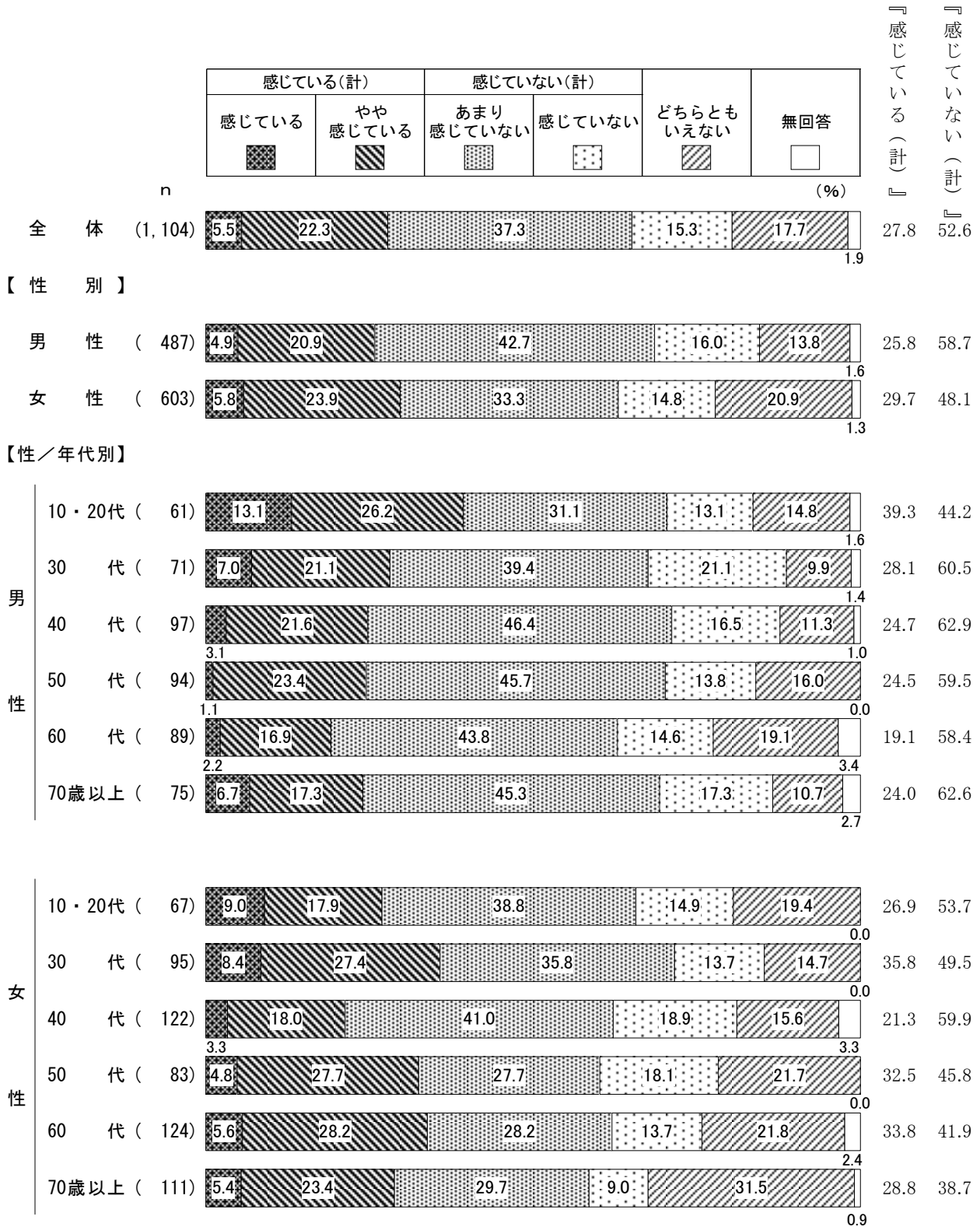
※多文化共生：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

図10-1-1



大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか聞いたところ、「感じている」(5.5%)と「やや感じている」(22.3%)を合わせた『感じている(計)』(27.8%)は3割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(37.3%)と「感じていない」(15.3%)を合わせた『感じていない(計)』(52.6%)は5割を超えて高くなっている。(図10-1-1)

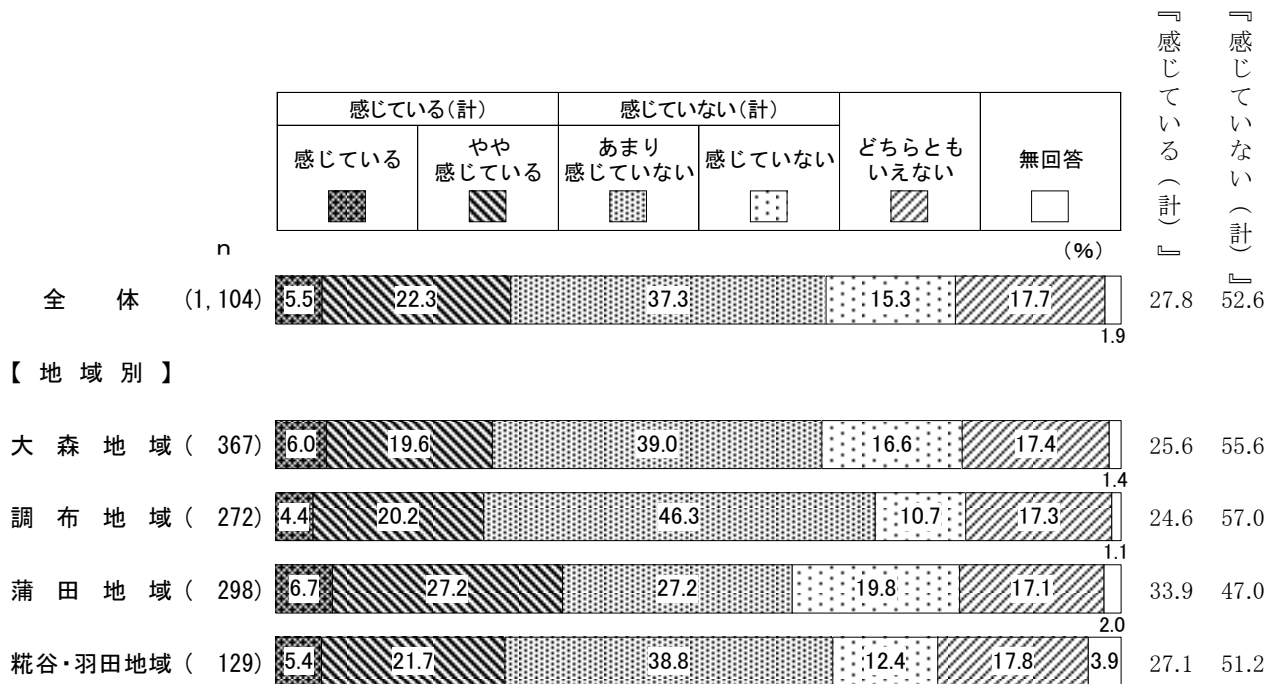
図10-1-2 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー性／年代別



性別でみると、『感じていない(計)』は男性(58.7%)が女性(48.1%)より10.6ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性10・20代(39.3%)で約4割と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性40代(62.9%)と男性70歳以上(62.6%)で6割を超えて高くなっている。(図10-1-2)

図10-1-3 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているかー地域別



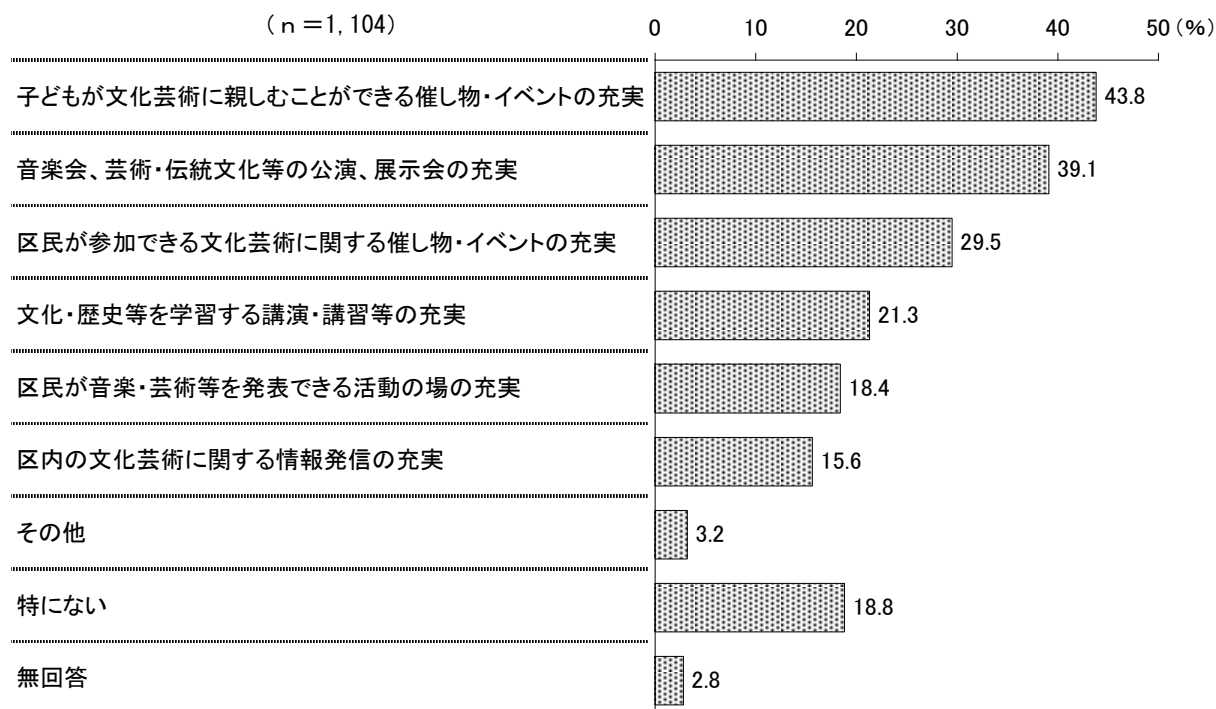
地域別でみると、『感じている(計)』は蒲田地域(33.9%)で3割を超えて高くなっている。一方、『感じていない(計)』は調布地域(57.0%)で6割近くと高くなっている。(図10-1-3)

(2) 区内の文化施設に期待すること

◇「子どもが文化芸術に親しむことができる催し物・イベントの充実」が4割を超える

問17 大田区には多くの文化施設があります。今後、区内の文化施設に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

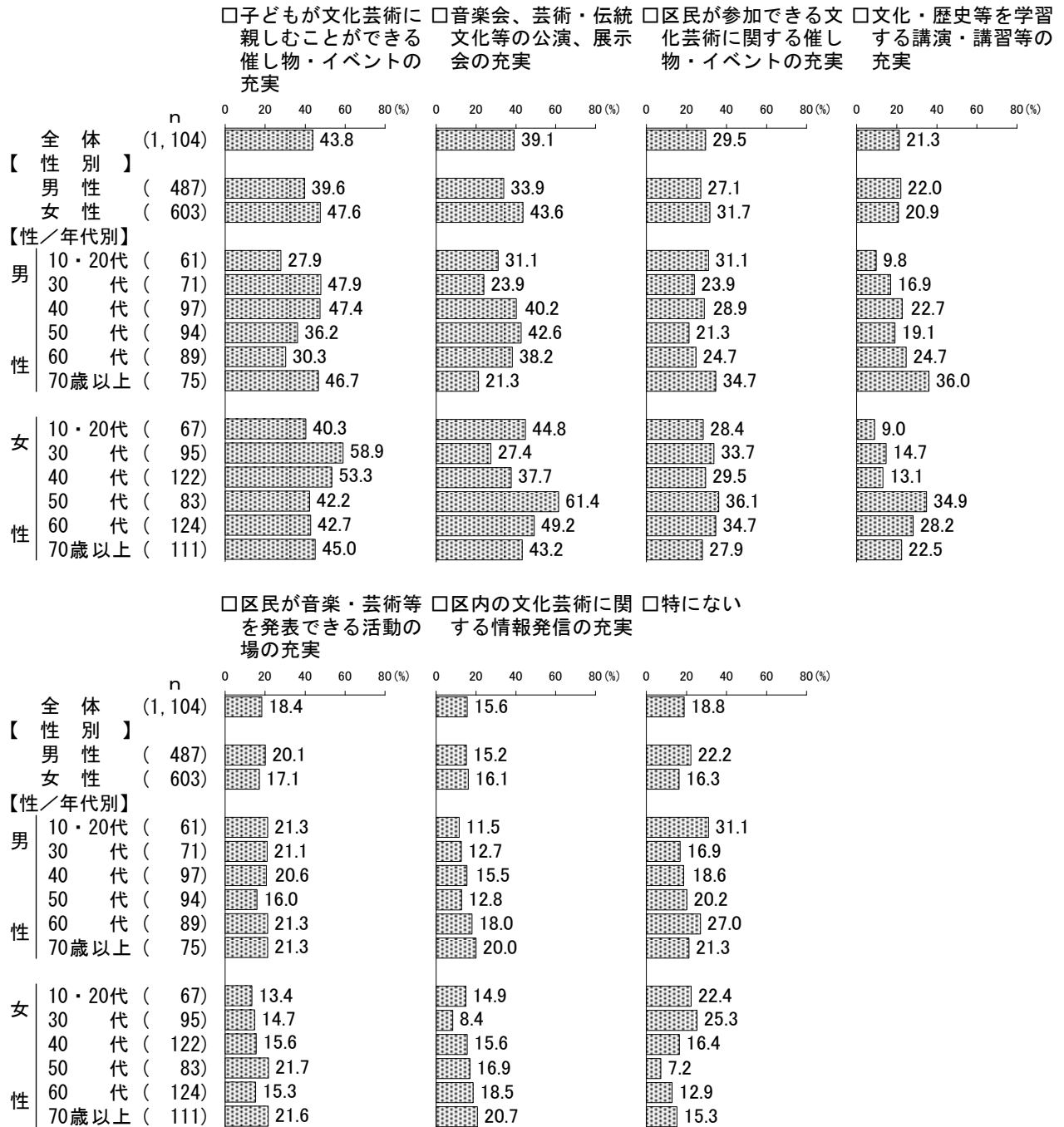
図10-2-1



区内の文化施設に期待することを聞いたところ、「子どもが文化芸術に親しむことができる催し物・イベントの充実」(43.8%)が4割を超えて最も高く、次いで「音楽会、芸術・伝統文化等の公演、展示会の充実」(39.1%)、「区民が参加できる文化芸術に関する催し物・イベントの充実」(29.5%)、「文化・歴史等を学習する講演・講習等の充実」(21.3%)、「区民が音楽・芸術等を発表できる活動の場の充実」(18.4%)などの順となっている。

「その他」への回答として、「著名な芸術家を招いた公演やイベントの開催」、「文化施設の利用を促す広報活動」、「施設の整理・統合や維持経費の削減」などがあげられている。(図10-2-1)

図10-2-2 区内の文化施設に期待すること－性／年代別

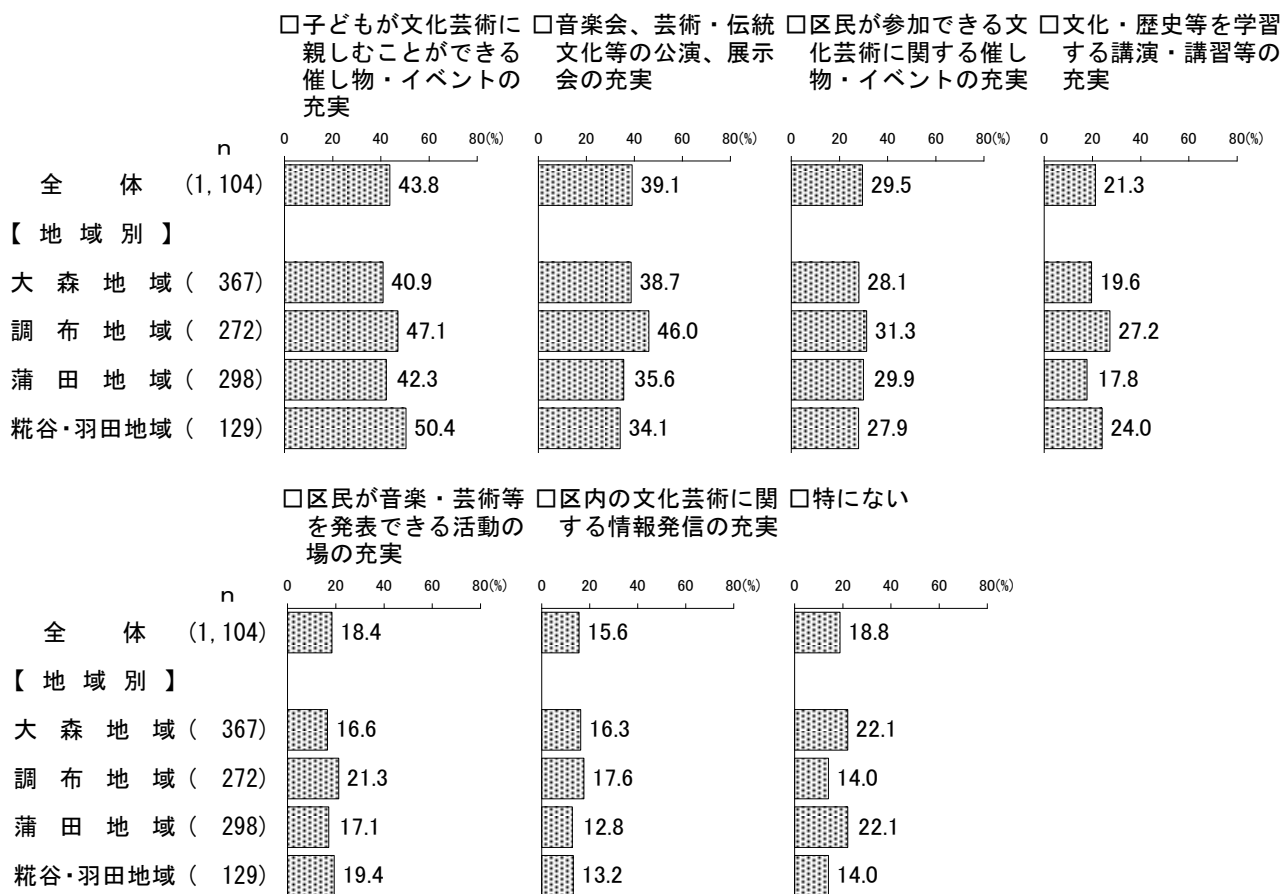


性別でみると、「音楽会、芸術・伝統文化等の公演、展示会の充実」は女性(43.6%)が男性(33.9%)より9.7ポイント高くなっている。「子どもが文化芸術に親しむことができる催し物・イベントの充実」は女性(47.6%)が男性(39.6%)より8.0ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「子どもが文化芸術に親しむことができる催し物・イベントの充実」は女性30代(58.9%)で6割近くと高くなっている。「音楽会、芸術・伝統文化等の公演、展示会の充実」は女性50代(61.4%)で6割を超えて高くなっている。「文化・歴史等を学習する講演・講習等の充実」は男性70歳以上(36.0%)と女性50代(34.9%)で3割半ばと高くなっている。

(図10-2-2)

図10-2-3 区内の文化施設に期待すること―地域別



地域別でみると、「子どもが文化芸術に親しむことができる催し物・イベントの充実」は糀谷・羽田地域（50.4%）で5割と高くなっている。「音楽会、芸術・伝統文化等の公演、展示会の充実」は調布地域（46.0%）で4割半ばと高くなっている。「文化・歴史等を学習する講演・講習等の充実」は調布地域（27.2%）で3割近くと高くなっている。（図10-2-3）